

安全・安心な水をお届けするために 新しく強い水道管へ

☎上下水道工事課（福田支所 2 階） ☎ 0538-58-3282 FAX 0538-58-3271

老朽化する水道管

磐田市の上水道は旧磐田市の水道事業が開始されてから68年が経過し、水道管の長さは、本州の長さと同様、同じ約1400キロメートルあります。しかし、その多くは昭和40～60年代に敷設されたもので、その5分の1以上が耐用年数を超えています。

水道管が古くなると

水道管を長期間使用すると、水道水に含まれるミネラルなどにより、水あかやさびが付着し濁り水の原因となります。管の劣化が進むと漏水が発生し、修繕のために断水が必要になったり、場合によっては道路の陥没や冠水による通行止めが発生するなど、日常生活に大きな影響を及ぼします。近年では、ほぼ毎日のように市内のどこかで漏水が発生しています。



▲劣化により裂けてしまった水道管

更新と耐震化を進めています

東日本大震災や熊本地震では大規模な断水や濁り水が発生しました。市では管路更新計画に基づき、計画的に老朽管の更新とともに「災害に強い水道」を目指し、耐震性に優れた水道管を採用するなど管の耐震化を進めています。

また、災害時に管路の破損による大規模断水を防ぐため、基幹管路（口径300ミリ以上の水道管）を優先して耐震化するよう取り組んでいます。

基幹管路の整備状況

令和2年度末現在

耐震化率 約87%

安全・安心な水を届けるために
50年後、100年後も蛇口から水

が出る。そうした当たり前が続くように、市では安全で信頼される災害に強い水道を目指して、水道管の更新・耐震化を進めていきます。

工事にご理解ご協力を！

水道工事に伴い、交通規制のお願いや振動・騒音の発生、濁り水が出る場合や断水をお願いをすることがありますが、皆さんの快適な生活を守るための大切な工事ですので、ご理解とご協力をお願いします。



▶基幹管路を耐震性に優れた管に取り替えている様子





漏水を発見したら、場所（付近の目標物など）、状況（程度、いつ頃から）などをお知らせください

発見したら上下水道工事課へ連絡
雨が降っていないなくても常に道路がぬれている（水たまりができていて）、道路などから水が湧き出している場合は、地下の水道管から水が漏れている可能性があります。
道路上などで漏水を発見したときは、早急に上下水道工事課までご連絡ください。

道路上で漏水を発見したら

ページ番号 1006990



水道メーターのふたを開けて、この部分（パイロット）を確認してください

自分でできる漏水チェック
敷地内の漏水は水道メーターで確認することができません。水道の蛇口などを全て閉め、水道メーターのパイロット（銀色のコマ）が回っていれば漏水の可能性がります。その場合は、磐田市指定給水装置工事業者を紹介しますので上下水道料金センター（☎0538-5813070）へお問い合わせください。

敷地内で使用されている水道管の老朽化による漏水も年間300件以上発生しています。漏水は貴重な水を無駄にするばかりでなく、水道料金が高額になったり、敷地や建物へ悪影響を及ぼしたりすることもあります。
漏水の「早期発見！早期修繕！」をお願いします。

家の水道管は大丈夫？

ページ番号 1001534

下水道を守るために…

ページ番号 1008605

下水道に土砂や油、木片などの廃棄物を流してしまうと、下水道管が詰まるだけでなく、汚水を汲み上げるポンプの詰まりなど、予期せぬ事故に繋がることもあります。下水道は生活環境を守るための大切な財産です。ルールを守って大切に使いましょう。

引火性のある危険物は流さない

ガソリンやシンナー類などの引火性のあるものが下水道に流れると、下水道管内で引火して火災や爆風でマンホールのふたが飛んでしまうこともあり、重大な事故につながります。

危険物を廃棄する際は販売店などに相談し、適切に処理してください。



トイレにはトイレットペーパーしか流さない

トイレットペーパーは水に溶けるよう作られています。衣類や雑巾、オムツなど、トイレットペーパー以外のものを流すと、下水道管やトイレ自体が詰まる恐れがあります。



台所のごみや廃油は流さない

野菜くずや油は下水道管を詰まらせます。調理器具に残った油はキッチンペーパーなどに吸い込ませて、燃えるごみとして出してください。



下水道についてのご質問は

上下水道工事課下水道工事グループ
（福田支所2階）
☎ 0538-58-3287
FAX 0538-58-3271

